



《評価指標データ》

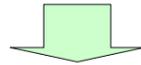
- 博士研究員（PD）の受入状況
- 日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数
- 研究誌発行状況
- 提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）
- 専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】
- 学術賞の受賞状況【大学基礎データ】
- 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数
- 21世紀COEプログラムの採択状況
- 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況【基本的な基礎データ】
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】
- 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況【基本的な基礎データ】
- 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

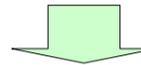
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆その他 (自由記述)	
----------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### ＜評価専門委員会の評価＞

##### 【学外委員】

○初年次教育や専門科目の体系化への取組みは大変評価できます。実際に効果が出るのが期待されます。

##### 【学内委員】

○教育研究組織の適切性についての検証ですが、検討の場だけでなく、検証の方法についても記述できないでしょうか。

○「教育改革推進委員会」の下に、新たに初年次教育部会を設け、基礎ゼミの導入を含めたカリキュラム改革を提案したとのことですが、2011年度におけるその詳細の提案・決定と、2012年度からの実施が期待されます。

○カリキュラム改革は、小項目「6.1.4」教育課程の編成・実施方針の適切性についての定期的検証、の内容にもなりますが、組織編成原理の大元です。改革により、一層充実した教育内容となることを期待します。なお、現状においての大まかな編成原理を示していただくと、よりわかりやすい記述になると思います。

##### 【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

##### ○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

##### ○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。」

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 教育研究組織、とりわけ「教育組織」の適切性の検証は2012年度からの新たなカリキュラムによる教育実践によるGPA等の伸び等の指標により、目標達成度を適切に評価したうえで、教育改革推進委員会等教務に関する関連委員会にて検証する予定である。